

\*あたたかな まなざしを\*  
～心で感じる、身体を動かす喜びを～

園庭では保育者と共に身体を動かし、秋の自然の中で様々な遊びを楽しむ子どもたちの姿が見られます。

- 保育者と鬼ごっこをして心地よい汗をかく
- スクーターを乗り回す
- アヒルホッケー、サッカー、野球を保育者と一緒に楽しむ
- ひつつきむし（オナモミ、ヌスビトハギ、コセンダングサなど）を保育者につけて大笑いする
- カリンの甘い香りを感じながら、おろし器で擦る
- サツマイモを擦りおろして団子を作る
- コオロギ、カマキリ、ショウリョウバッタなどの虫探しをする
- 捕まえた虫を図鑑で調べる
- 形の違うどんぐりを集める
- 空を見上げて、「今日の空きれいだね」とつぶやく  
などなど

日々の保育の中で「身体を通しての」実際の経験をしてほしいと感じています。園庭を走り回ったり、水や泥に触れたり、空を見上げたり、ダンゴムシを手のにのせたり、友だちやまわりの大人と笑い合い、共感したりと。

これら外遊びの様々な活動をすることで、その結果として子どもたちも、保育者も共に「身体を動かし」「心で感じ」「気づき」「考えて」ほしいと願っています。

汗をかくこと、様々な動きをすること、友だちや保育者と共感する（喜んだり、怒ったり、楽しんだり、悲しんだり）こと、様々な不思議なことに気づくこと、命について心を留めることなどを大切にできるように、あたたかなまなざしを注いで、子どもたちの「今」を支えていきましょう。

アウトドア派園長 赤木敏之